

平成25年度の事業報告

- ① 2020年を目標として「岐阜県次世代自動車充電インフラ整備計画」を策定し、県内の充電インフラ整備を促進
- ② 8月6日に「EV・PHVタウンシンポジウムin飛騨高山」を開催
- ③ 平成23～24年度に実施したモニター実証で得られた実データをもとに作成したシミュレーターを公開
- ④ セラミックパークMINOで開催された「ものづくり岐阜2013テクノフェア」において、協議会のPR活動を実施
- ⑤ 県内で初となる燃料電池車の展示・試乗会を開催
- ⑥ その他



①充電インフラ整備計画の進捗について



【急速充電器整備状況推移】

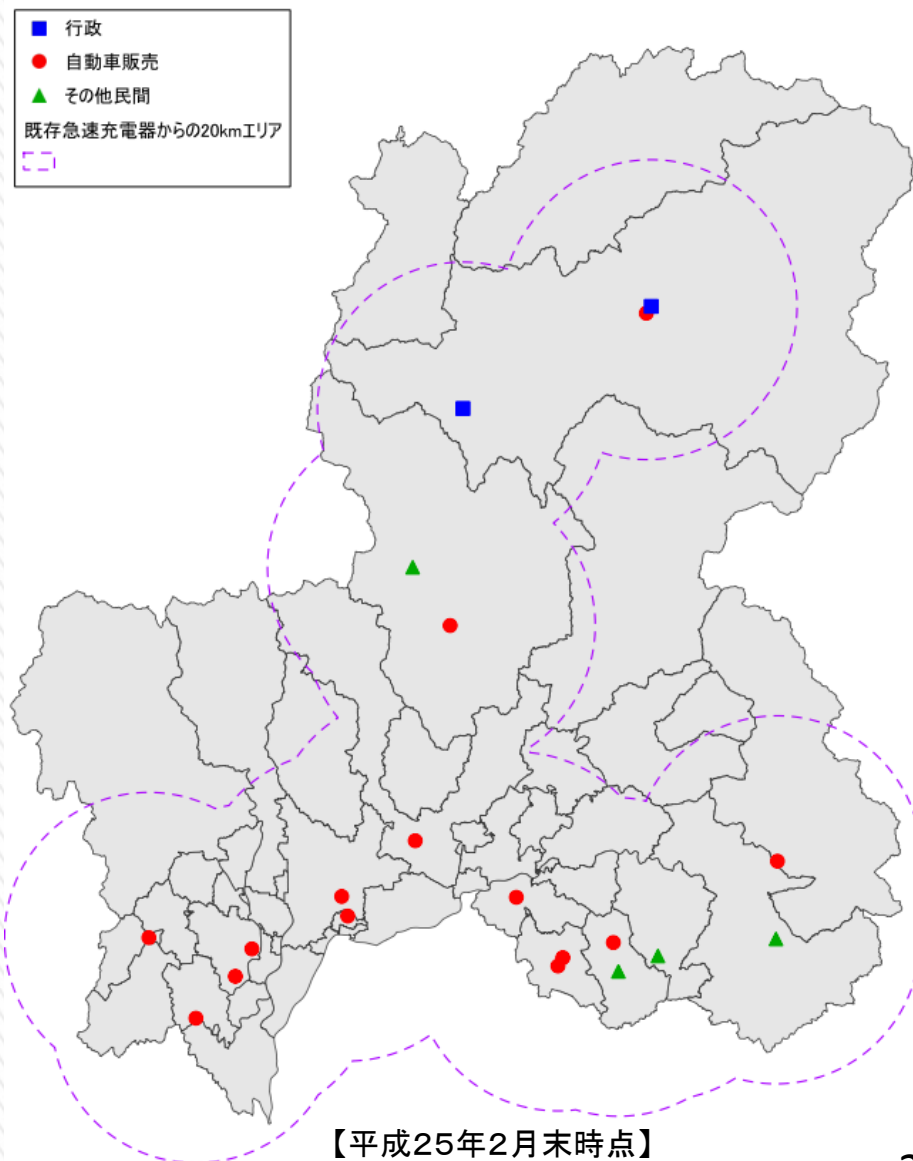
平成25年1月末時点
 急速充電器整備基数 21基
 (一般公開中として県が確認したもの)

平成25年5月22日
 「岐阜県次世代自動車充電インフラ
 整備計画」策定



平成26年3月14日現在
 急速充電器整備基数 32基
 (一般公開中として県が確認したもの)

※高速道路整備分2基を除く





整備計画の策定方針



○道の駅への導入

- ・県内54の道の駅について範囲・基数を設定(各所に急速充電器1基と普通充電器1基を導入) → 計108基を設定

○急速充電器 (※道の駅分を除く)

- ・主要道路沿い施設、市役所・役場、駅などについて範囲・基数を設定(市町村及び次世代自動車推進協議会のメンバーの意向反映)
→ 計93基を設定
- ・交通量に見合った必要基数との差を、旧市町村別追加整備基数として設定→計105基を設定

○普通充電器 (※道の駅分を除く)

- ・3-4で算出した旧市町村毎の必要基数を本計画の範囲及び基数(計501基)とする

○高速道路の位置づけ

- ・広大な岐阜県においては、東西2本、南北1本の高速道路は重要な動脈
- ・高速道路への整備が進むよう、中日本高速道路(株)と調整予定



充電インフラ整備計画確認状況



平成25年5月22日 公表
「岐阜県次世代自動車充電インフラ整備計画」

整備計画で規定した充電器基数

急速充電器 252基

普通充電器 555基

平成26年3月14日時点
充電インフラ整備計画要件確認基数

設置箇所数 79箇所

急速充電器 54基

普通充電器 44基



【平成26年3月14日時点】



充電インフラ整備計画確認状況



【市町村別】

【業 種 別】

設置者	設置個所数	急速充電器	普通充電器
道の駅	7	7 (8)	3
行政	2	2 (4)	0
自動車販売店	28	28 (47)	1
自動車関連企業	5	2 (4)	3
ホテル・旅館	15	2 (2)	19
商業施設	12	7 (9)	11
飲食店	2	0 (1)	2
電気設備工事	3	3 (4)	2
建設業	3	2 (2)	1
病院	1	0 (1)	2
宗教法人	1	1 (1)	0
合計	79	54 (83)	44

市町村名	設置個所数	急速充電器	普通充電器
岐阜市	12	10 (14)	3
大垣市	6	6 (9)	1
高山市	16	6 (9)	14
多治見市	4	3 (5)	4
関市	3	2 (3)	2
中津川市	3	3 (4)	0
羽島市	1	1 (1)	0
恵那市	2	2 (4)	0
美濃加茂市	2	1 (1)	1
土岐市	5	5 (7)	2
各務原市	4	3 (4)	2
可児市	5	3 (5)	3
山県市	1	1 (1)	0
飛騨市	2	1 (1)	1
本巣市	1	1 (1)	0
郡上市	1	0 (2)	1
下呂市	3	1 (1)	3
海津市	2	1 (1)	1
笠松町	1	0 (0)	2
垂井町	1	1 (1)	0
白川町	2	2 (2)	2
東白川村	1	1 (1)	1
御嵩町	1	0 (0)	1
その他	0	0 (6)	0
合計	79	54 (83)	44

※平成26年3月14日現在

※() 現在整備済みの基数を足した数



充電インフラ整備計画と実績の比較(急速)

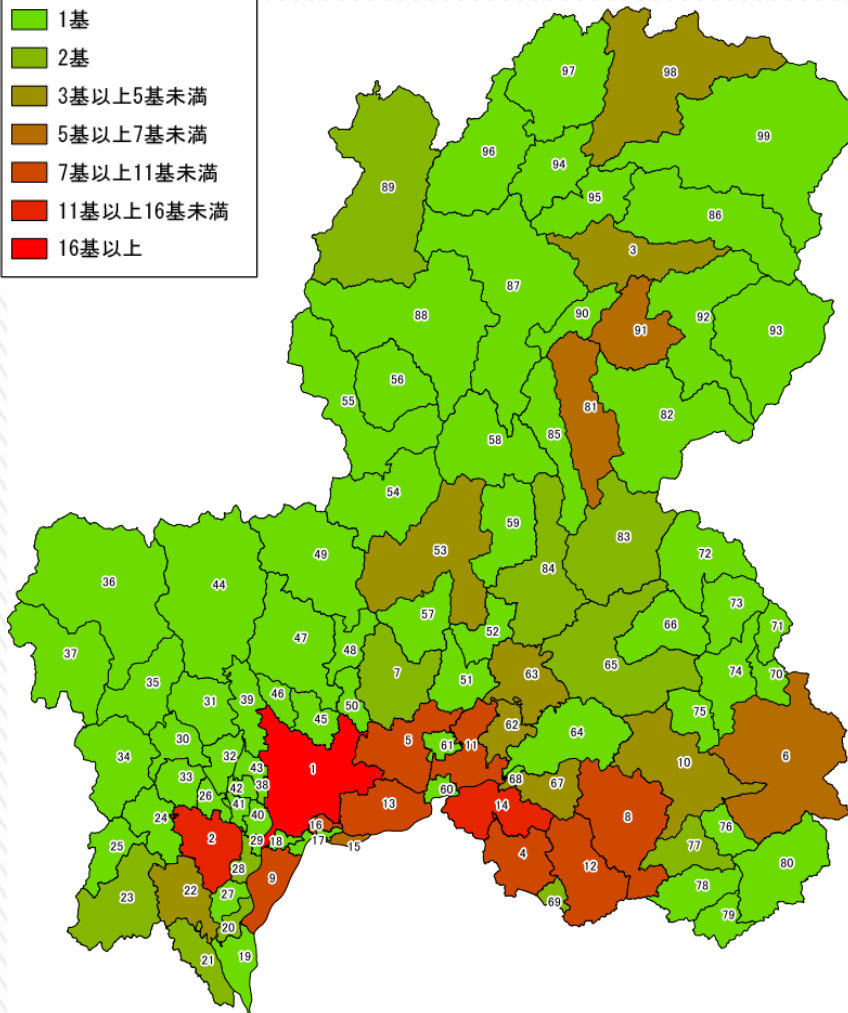


【計 画】

【実 績】

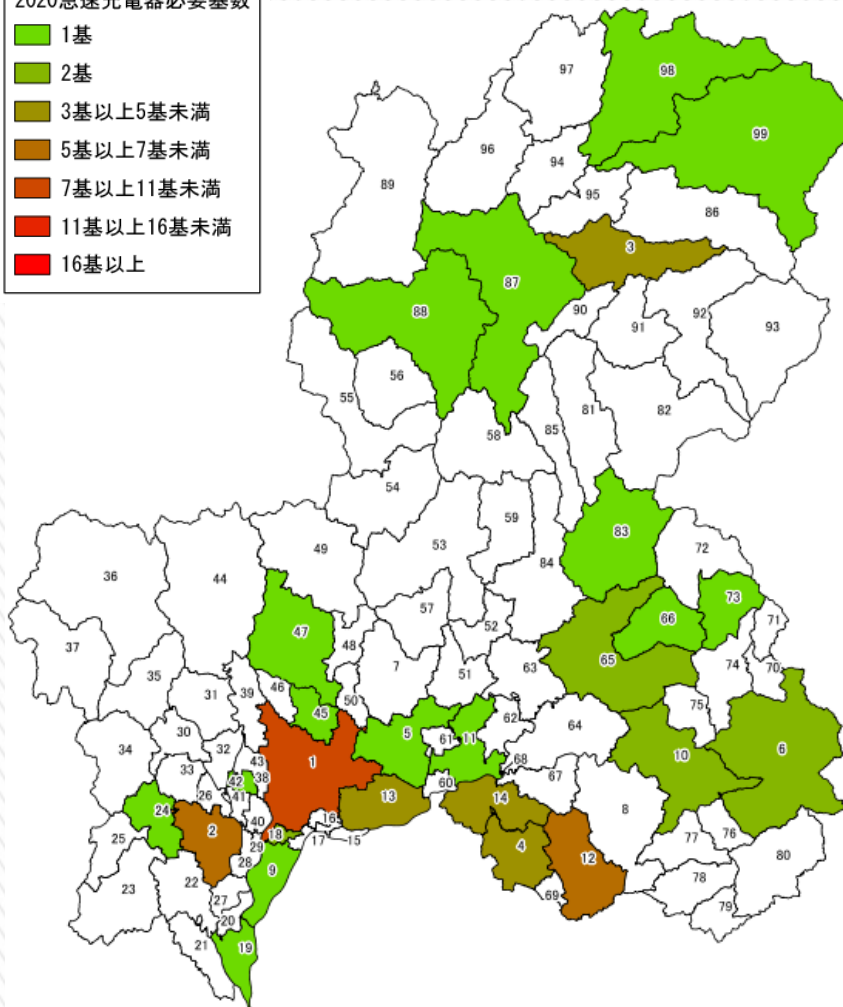
2020急速充電器必要基数

- 1基
- 2基
- 3基以上5基未満
- 5基以上7基未満
- 7基以上11基未満
- 11基以上16基未満
- 16基以上



2020急速充電器必要基数

- 1基
- 2基
- 3基以上5基未満
- 5基以上7基未満
- 7基以上11基未満
- 11基以上16基未満
- 16基以上



【平成26年3月14日時点】

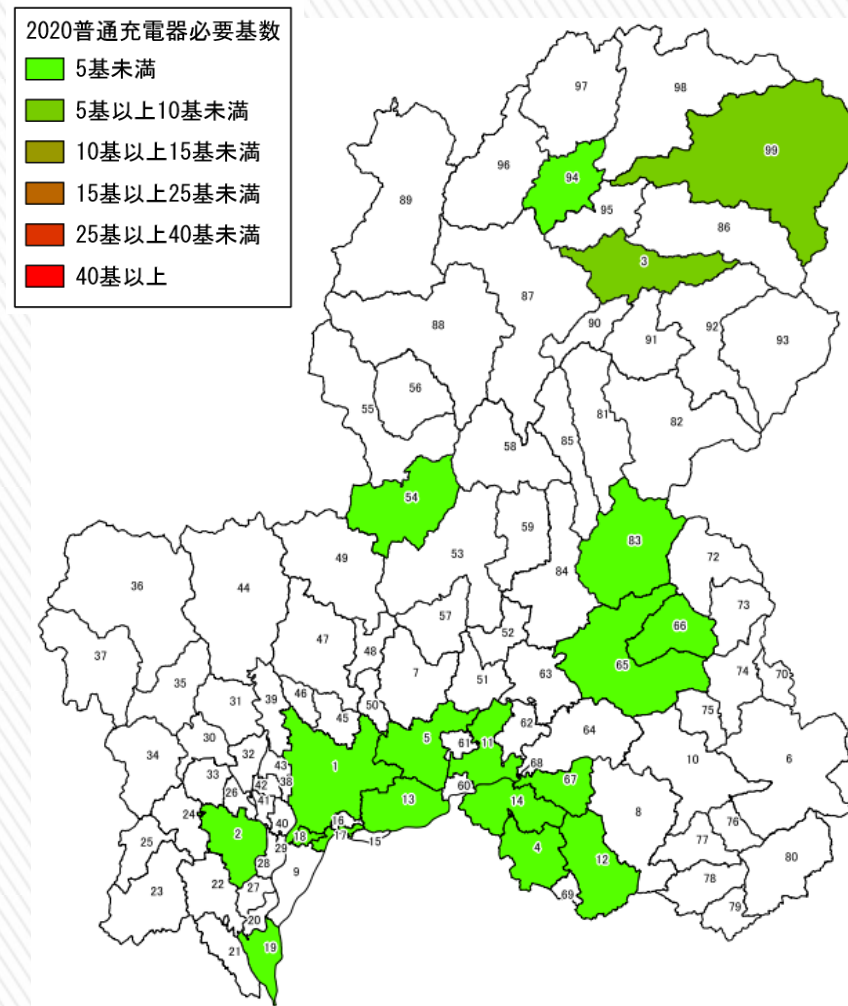
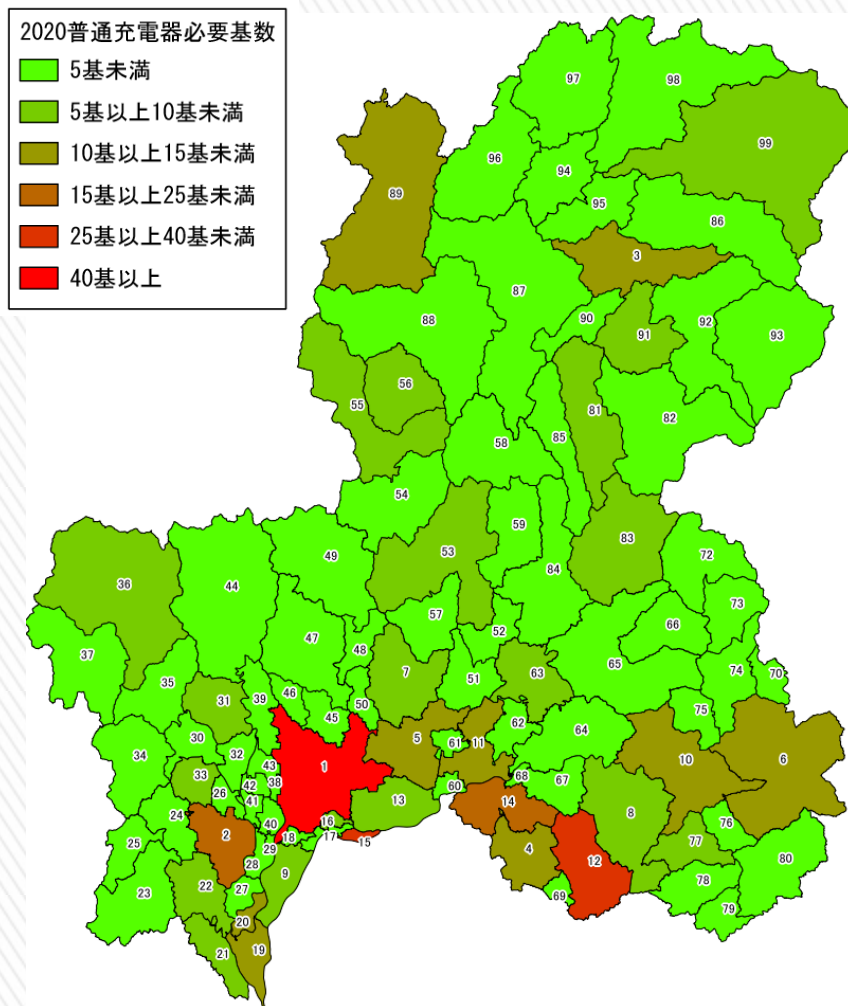


充電インフラ整備計画と実績の比較(普通)



【計 画】

【実 績】



【平成26年3月14日時点】



道の駅への整備状況



県内道の駅 54箇所

充電インフラ整備箇所 7か所

充電インフラ整備計画を活用した基数

【急速充電器 5基】

- ・パスカル清見(高山市) ①
- ・花街道付知(中津川市) ②
- ・美濃白川ピアチェーレ(白川町) ③
- ・清流白川クオーレの里(白川町) ④
- ・志野・織部(土岐市) ⑤

【普通充電器 3基】

- ・美濃白川ピアチェーレ(白川町) ③
- ・清流白川クオーレの里(白川町) ④
- ・志野・織部(土岐市) ⑤

上記以外の整備箇所

【急速充電器】

- ・桜の郷荘川(高山市) 1基 ⑥

【普通充電器】

- ・ななもり清見(高山市) 1基 ⑦



【平成26年3月14日時点】



整備見込から想定されるEVの移動エリア



平成26年3月14日時点 急速充電器基数 32基

(※右図緑枠参照)

(※整備計画対象分3基を含む)

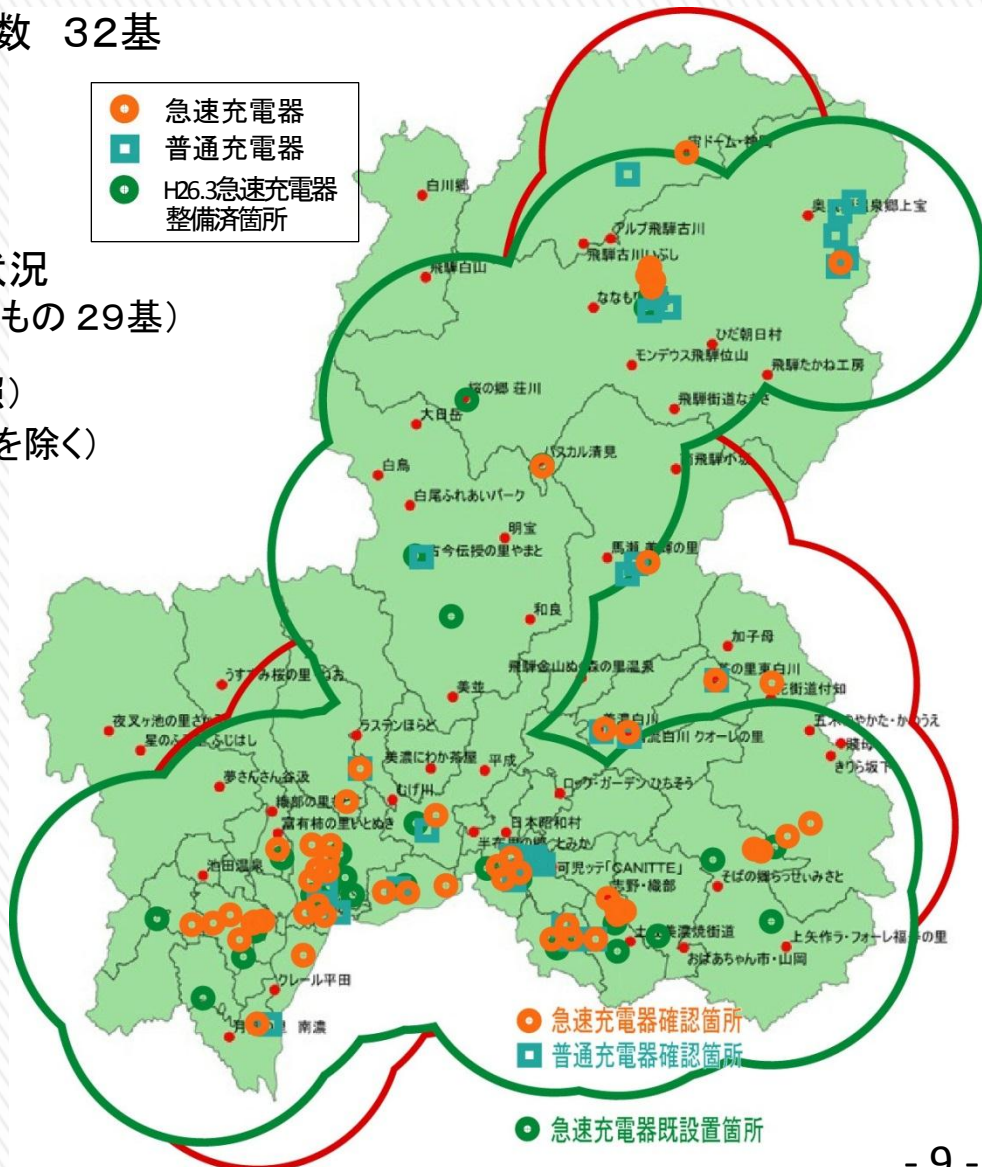
- 急速充電器
- 普通充電器
- H26.3急速充電器整備済箇所

整備計画で確認した充電器の完成後の状況
(整備計画に基づくもの54基 + 整備計画外のもの29基)

急速充電器 83基 (※緑枠+赤枠参照)
(※高速道路分2基を除く)

カバーできていないエリア

高山市の一部、飛騨市の一部、
下呂市の一部、本巣市の一部、
揖斐川町の一部、白川村の一部

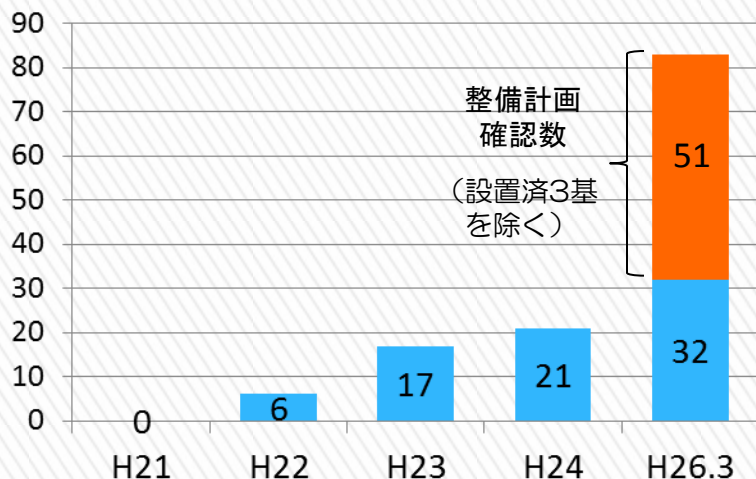




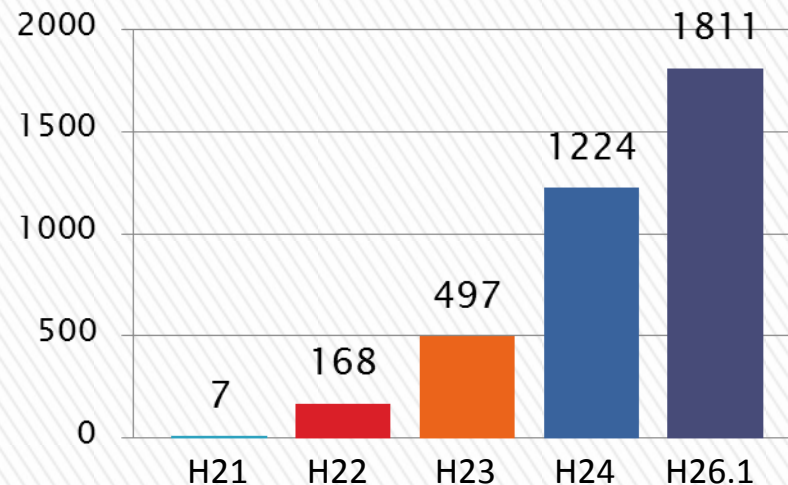
次世代自動車及び充電インフラの整備状況推移



一般開放されている急速充電器延基数
(高速道路設置分を除く)



岐阜県内EV・PHV普及延べ台数



年度別普及数	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 6 . 1	合計
EV・PHV	7	1 6 8	3 2 9	7 2 4	5 8 7	1, 8 1 1

年度別普及数	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 6 . 3	合計
急速充電器	0	6	1 1	4	1 1	3 2 (83)

※H26.3.14時点



県周辺の急速充電器整備状況



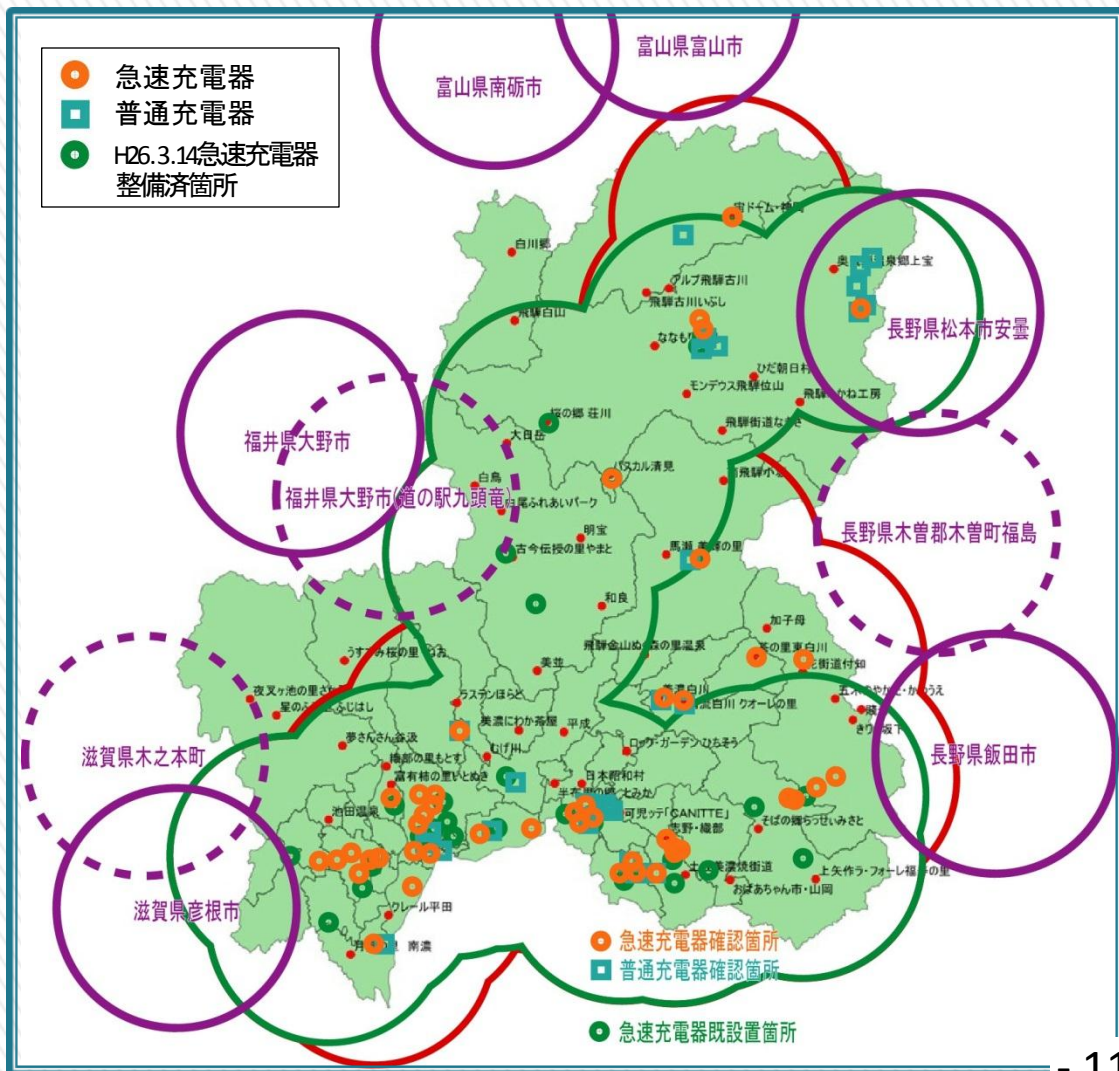
平成26年3月14日時点 岐阜県周辺の急速充電器整備状況

(※右図紫枠参照)

紫実線: 整備済み

紫点線: 整備計画確認済み

※ 他県との境界部分
についても充電イン
フラの整備が進みつ
つある。





②「EV・PHVタウンシンポジウムin飛騨高山」開催



地方開催としては4カ所目となる「EV・PHVタウンシンポジウム」を平成25年8月6日に高山市で公開



EV・PHVタウン シンポジウム - in 飛騨高山 -

主催：経済産業省、(一社)次世代自動車振興センター

岐阜県EV・PHVタウン構想

タウン構想が目指す最終イメージ

EV・PHVを核とした低炭素エネルギー供給モデル地域の構築

EV・PHVの単独での普及を目指すのではなく、太陽光発電・燃料電池・蓄電池などの複数のエネルギー技術の組合せの1要素としての普及を目指す

マスタープランにて示した目標

時期	EV・PHV導入目標値	充電器導入目標値
短期:2013年前後	1500台 (EV:1000台、PHV:500台)	急速+中速 30台
中期:2020年前後	5.6万台 (EV:4.0万台、PHV:1.6万台)	急速+中速 800台
長期:2030年前後	800万台 (EV:600万台、PHV:200万台)	急速+中速 9000台

842台(425.1) 既に達成
※467台はH24.4目標 【一般開放21台】

(主催：経済産業省、(一社)次世代自動車振興センター)
共催：岐阜県 他)

※ 岐阜県内での普及に向けた取り組みの発表等を行った。



③EV・PHV導入効果シミュレーションの公開



※ EV・PHVタウンシンポジウムで初公開し、以降県のホームページで公開中。

【岐阜県EV・PHV導入効果シミュレーション】は岐阜県のホームページ上で公開しているウェブアプリです。

【特徴】

- ・実証試験で調査した実データに裏打ちされたリアリティのあるシミュレーションです。
- ・岐阜県内の市町村、ドライビングスタイル、運転パターン等を選択・入力すると、EV・PHVの導入効果を自動計算します。
- ・ホームページ上で稼働している。
⇒パソコンやスマートフォンで使用可能。

本シミュレーションは以下の県ホームページにあります。

岐阜県HPトップ > 産業・雇用
 > 企業立地・企業支援 > 中小企業支援
 > 新エネルギー・新産業 > 次世代自動車

または、検索サイトから
 『岐阜県 次世代自動車』を検索。
 > 『岐阜県:次世代自動車』をクリック

※ 公開後、1万件を超えるアクセスあり。

岐阜県 EV・PHV 導入効果シミュレーション



本ツールは、岐阜県が平成23年間に実施した「中山間地次世代自動車モニター実証」により把握した各種データを元に、岐阜県内でEV(電気自動車)やPV(プラグインハイブリッド車)を導入した場合の効果(燃料費削減効果、CO2削減効果)をシミュレーションするものです。

【このページの使い方】

以下の1~4の項目において、解答を選択、もしくは空白に数値を入力します。ページ下部の【計算】をクリックすると、エンジン自動車と比較した年間コストとCO2排出量の違いが表示されます。※本ページの実行にはJavaScriptが必要です。JavaScriptを実行可能な環境にてご利用ください。

1 地域の選択

お住まいの地域を選択してください。

岐阜市

モニター実証では、気温が低い地域では暖房などの影響により、電費が悪化する傾向が見られました。



2 ドライビングスタイルの選択

ご自身のドライビングスタイルを、「急加速が多い」、「普通だと思」、「エコドライブをしている自信あり」から選択してください。

エコドライブ

モニター実証では、急加速が多い運転の場合、電費の悪い悪化が見られました。



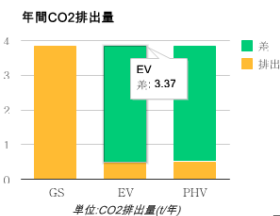
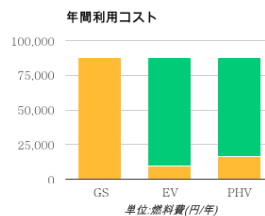
3 車の利用パターン設定

【入力フォーム】

【シミュレーション結果】

計算

年間走行距離	6778 km		
現在の年間利用コスト	87890 円		
EV導入時の年間利用コスト	9829 円	現在とEV導入によるコスト差	78061 円
PHV導入時の年間利用コスト	16141 円	現在とPHV導入によるコスト差	71749 円
現在の年間CO2排出量	8.86 t		
EV導入時の年間CO2排出量	0.49 t	現在とEV導入による排出量差	3.37 t
PHV導入時の年間CO2排出量	0.53 t	現在とPHV導入による排出量差	3.33 t

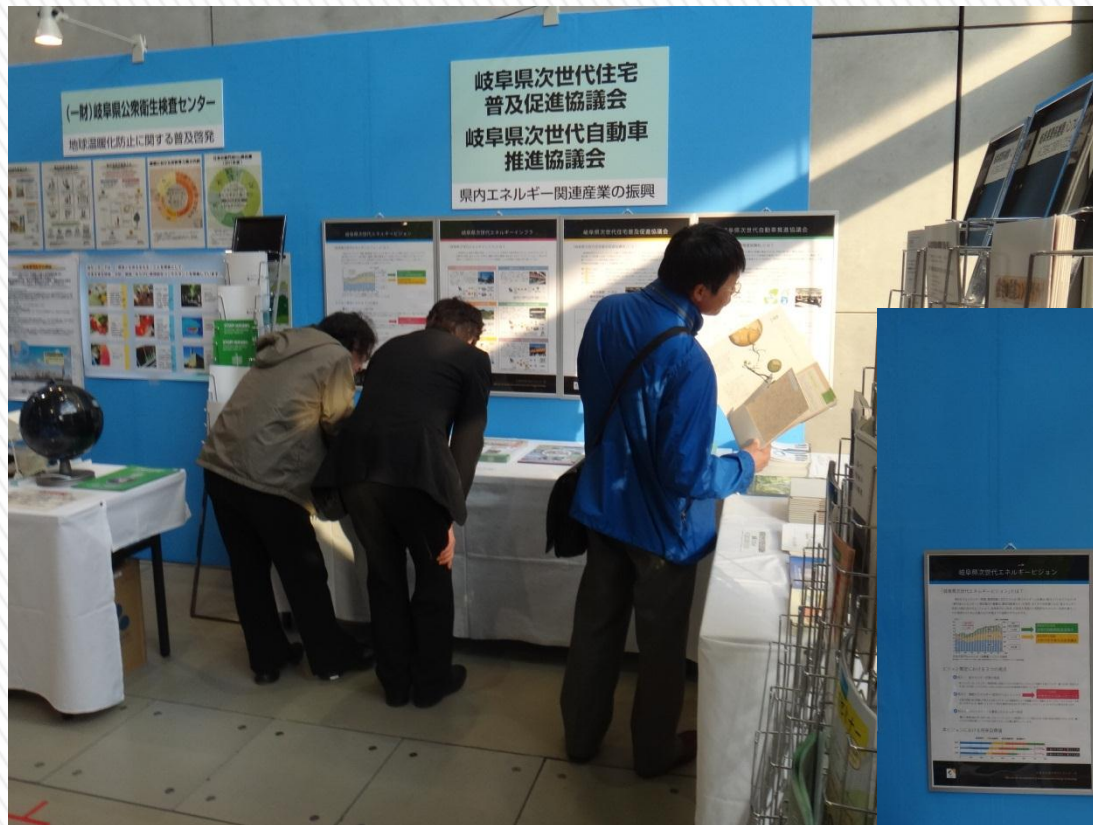




④「ものづくり岐阜2013テクノフェア」でのPR活動



平成25年11月1～2日にセラミックパークMINOで開催された「ものづくり岐阜テクノフェア2013」ではブースを設けて次世代自動車及び協議会のPR活動を実施



※ 開催中は21,800人が来場



⑤県内初となる燃料電池車試乗会を開催



「ものづくり岐阜テクノフェア2013」では中部FCV水素供給インフラ整備推進会議の主催により、県内初となる燃料電池車の試乗体験会と、水素ステーションの展示が開催されました。



【燃料電池車】



※ 2日間で延べ69組が試乗を体験

【水素ステーション展示】



⑥その他

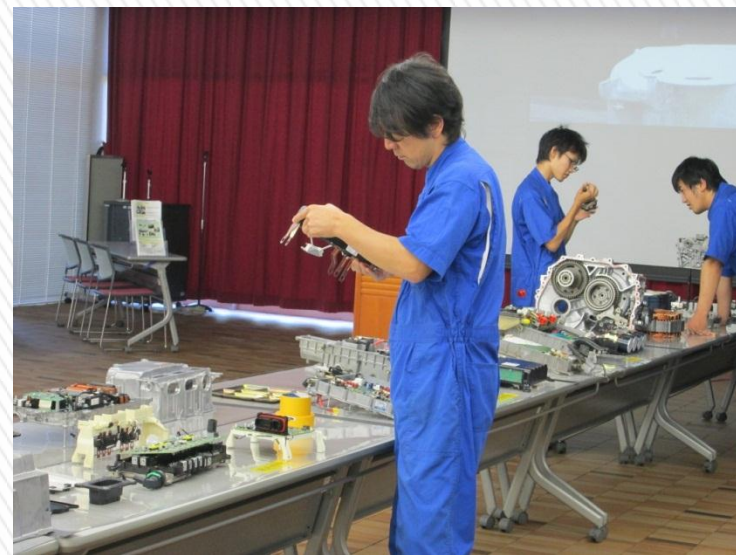


岐阜県では県内の次世代自動車産業振興のための取り組みも実施しております。

○次世代自動車分解講座

実物の自動車分解部品から次世代自動車の主要部品の機能・構造を理解し、将来を見据えた可能性の高い技術領域を発掘し、研究開発につなげることを目指して開催した。

※平成25年度には全3回の講座で、トヨタ自動車の「アクア」と「プリウス」の部品比較などを実施。



○新技術・新工法展示商談会

県内中小企業単独では難しい、大手企業の研究開発部門や購買部門等との接触機会として、展示商談会・個別商談会を開催し、受注獲得や共同研究への展開を支援する。

※愛知県・三重県とも連携し、大手自動車メーカーを対象に実施している。